朗読者・絵本専門士の派遣レポート　Vol.8
KYOTO BOOK PARK
「大学生による絵本ミニ・ビブリオバトル×朗読指導者による絵本の朗読」講座修了生が読み聞かせ会を開催

文字・活字文化推進機構では読書推進の一環として、全国の文学館・美術館・博物館などで開催されるイベントへの朗読者・絵本専門士の派遣をお手伝いしております。

特別企画として、11月8日（土）に京都市で開催されたKYOTO BOOK PARK内の「大学生による絵本ミニ・ビブリオバトル×朗読指導者による絵本の朗読」にて、「山根基世の朗読指導者養成講座」の2期修了生の佐藤千津さん、8期修了生の柳原和美さんが『おねぼうなじゃがいもさん』『ともだちや』を朗読しました。親子連れで70名程度の参加がありました。

▶朗読者・佐藤千津さんの感想・コメント

コンセプトは《公園で出会う、まだ知らない一冊。》、本好きにはたまらない2日間のイベントです。
読み聞かせを行った11月8日はお天気に恵まれ、多くの人出がありました。
絵本ビブリオバトル後の15分間をいただいたので、少し趣を変えようと私は紙芝居を選びました。
隣接の丹波口駅には青果市場があり、まさかの山陰線に乗るリアル野菜をイメージし『おねぼうなじゃがいもさん』を読みました。
続いて柳原さんの大型絵本『ともだちや』。キツネやオオカミが絵本から飛び出したのかと思うほどにテント内が賑わっていました。

当日の読みきかせの様子

▶朗読者・柳原和美さんの感想・コメント

絵本は、幅広い年齢の子どもにも楽しんでもらえるよう、自分でも大好きな内田麟太郎氏の『ともだちや』を選びました。
実際に舞台に立ってみると、想定していたよりも小さなお子さんが多いように思ったので、登場人物ごとに声に大きく変化をつけながら読むことにしました。
運よく図書館で大型絵本をお借りすることができたので、お客様には絵をはっきり見ながら楽しんでいただけたのではないかと思います。
「本当の友だちはお金では買えないんだよ」というメッセージが、子どもたちに届いていたら嬉しいです。

【朗読者・佐藤千津さん、柳原和美さんの選書】

『おねぼうなじゃがいもさん』(紙芝居)
（村山籌子・原作／村山知義・脚本・画／童心社）

『ともだちや』
（内田 麟太郎・作／降矢 なな・絵　偕成社）

同時開催の大学生絵本ビブリオバトルの様子

朗読者・絵本専門士の派遣事業では、2025年度は**最大20館**への派遣を予定しております。
企画を検討されているご担当者様からのお問い合せ・ご応募をお待ちしております。

詳しくはこちら！▶ https://bit.ly/3zOJ61V